

作物の種類		かき		59(07017)		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	枝条の刺の有無	10枝	観察		無	有									1～2年枝上における刺の有無
2	葉の大きさ	20葉	測定				小		中		大				7月中下旬生育中庸な1年枝の基部から3～5節の健全葉をとり葉面積を測定 小：90平方cm以下，中：91～130平方cm，大：131平方cm以上
3	葉の形状	20葉	観察				紡錘形		楕円形		長楕円形				調査葉は1次必須の2と同じ
4	花性	全樹	観察		1	2	3	4							開花期に調査 1：雌花のみ，2：雌花+雄花，3：雌花+雄花+完全花，4：雌雄異株 雄花の着生には年次変動があるため，花性と雄花の着生程度の調査年次が異なる場合，評価が整合しない場合がある。
5	果実の形（縦断面）	20果	観察		楔形	倒卵形	楕円形	卵形	円形	方形	宝珠形		扁円形		調査果は1次必須の12と同じ
6	果実の形（横断面）	20果	観察				長円形		円形	方円形	方形				調査果は1次必須の12と同じ。果実赤道部で横断する
7	果皮の色	20果	観察		緑黄	黄		橙		紅橙		紅	紫黒		調査果は1次必須の12と同じ。陽光面赤道部から果頂部にかけての果皮色
8	甘渋性	10果	その他		完全渋柿	不完全渋柿	不完全甘柿	完全甘柿							調査果は1次必須の12と同じ。官能検査とゴマ斑等により判定
9	果実の座	20果	観察		無	有									調査果は1次必須の12と同じ
10	果実側溝	20果	観察		無		1～3条		4条		5条以上				調査果は1次必須の12と同じ。果実側面の溝の有無

作物の種類		かき		59(07017)		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
11	へたの形	20果	測定		極細長		細長		中		幅広		極幅広	調査果は1次必須の12と同じ。へた幅／へた長より判定 極細長：1.00以下，細長：1.01～1.20，中：1.21～1.50，幅広： 1.51～2.00，極幅広：2.01以上	
12	果実の大きさ	20果	測定		極小		小		中		大		極大	適正着果量（葉果比15～20）に着果調節した木の正常な成熟果を測定する 極小：60g以下，小：61～140g，中：141～220g，大： 221～300g，極大：301g以上	

作物の種類		かき	59(07017)	1次選択項目										調査方法等
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	樹皮の粗密	2樹	観察				粗		中		平滑			主幹部の粗皮のきめの質
2	樹の大きさ	2樹	観察		低木性	高木性								樹齢が進み、樹の伸長が落ち着いた時点で、樹高と枝梢の広がりから木の空間占有の大小を判定
3	二重柿性	20果	観察		無	有								適正着果量（葉果比15～20）に着果調節した木の正常な成熟果について果実内部の二重柿性の有無を判定
4	果実斜線溝	10果	観察		無	有								調査果は一次選択の3と同じ。果頂を中心とした浅い放射状の十字溝（まれに5～8条の溝）の有無について判定
5	へた窪部側面の形	10果	観察				凸		平		凹			果実縦断面のへた窪部の形
6	種子の形	20個	観察		種子無し	長形	長三角形	三角形	楕円形	方形	方形と円形の間	円形		種子の全体の形
7	種子の色	20個	観察		種子無し		淡		中		濃			成熟果実の種子の色の濃淡

作物の種類		かき		59(07017)		2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	樹姿	2樹	観察				開張		中間		直立			側面からみた形状で、樹高と樹幅の比率の大小と枝とくに側枝の方向習性（水平に対する枝の着生角度）を観察し判定する	
2	樹勢	2樹	観察				弱		中		強			新梢の長さ、太さなどから判定（主枝、垂主枝、主要側枝について）	
3	発芽期	2樹	観察		極早		早		中		晩		極晩	りん片がゆるみ緑色の部分が見え始めた時期 極早：白皮柿，早：平核無，中：次郎，晩：富有，極晩：御所	
4	雌花の開花期	2樹	観察				早		中		晩		雌花無し	全体の80%が開花した時期 早：平核無，西村早生，中：次郎，伊豆，晩：富有	
5	雄花の開花期	2樹	観察				早		中		晩		雄花無し	全体の80%が開花した時期 早：赤柿，西村早生，中：禪寺丸，正月，晩：御所	
6	雌花の着生程度	2樹	観察				少		中		多			木全体に着生する雌花の数量を観察し判定する	
7	雄花の着生程度	2樹	観察		無		少		中		多			木全体に着生する雄花の数量を観察し判定する 雄花の着生には年次変動があるため、花性と雄花の着生程度の調査年次が異なる場合、評価が整合しない場合がある。	
8	成熟期	2樹	観察			極早	早	やや早	中	やや晩	晩	極晩		経時的に採収して調査し最高の果実品質となった時 早：伊豆，中：松本早生富有，晩：富有	

作物の種類		かき		59(07017)	2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	枝の発生密度	2樹	観察				疎		中		密			木全体の新梢の密度を観察し、判定する。疎：祇園坊，中：富有，密：新秋

作物の種類		かき	59(07017)	3次必須項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	へたの状態	20果	観察				平		やや反		反			果実に対するへた片の着生状態を観察し判定する
2	果肉褐斑の多少	20果	観察		無		少		中		多			果肉の褐斑の大きさと分布密度から判定 無：西条，愛宕，少：次郎，富有，中：正月，多：西村早生， 禪寺丸
3	肉質（粗密）		官能検査				粗		中		密		甚密	適熟果の果肉の質を官能により判定する 粗：西村早生，中：正月，密：富有，平核無，甚密：四溝
4	果汁糖度	20果	測定	*（小数第2位を四捨五入）									収穫盛期の完熟果の赤道部をくさび状に取り屈折計で測定し 20果の平均値で示す	
5	果汁の多少		官能検査				少		中		多			官能により判定する 少：駿河，中：次郎，西村早生，多：富有，平核無
6	含核数	20果	測定	個（小数第2位を四捨五入）									20果の平均値で示す。退化種子を含む	
7	果頂裂果の発生	30果	観察		無		少		中		多			30果について発生果率と裂果の大きさから判定
8	へたすき果の発生	30果	観察		無		少		中		多			30果について発生果率とへたすきの大きさから判定
9	汚染果の発生	30果	観察				少		中		多			30果について商品性に関する果皮の汚れの多少を発生果率から判定する 少：24%以下，中：25～74%，多：75%以上
10	早期落果の多少	30果	観察				少		中		多			開花数と摘果時の果実数とから判定する（受粉樹の混植または人工受粉を実施すること）
11	後期落果の多少	30果	観察				少		中		多			8月以降の落果程度を観察し判定する
12	収量性	2樹	観察				少		中		多			雌花の着生程度と生理落果の多少とから判定する 少：御所，祇園坊，多：富有，平核無

作物の種類		かき	59(07017)	3次選択項目										
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	一果平均重	20果	測定	g (小数第1位を四捨五入)										適正着果量 (葉果比15~20) に着果調節した木の正常な成熟果を測定する
2	玉ぞろい	20果	観察				不良		中		良			収穫果の大きさ, 果形の斉一度を観察し判定する.
3	条紋の有無と程度	30果	観察		無		少		中		多			果面の条紋の有無と程度から判定する. 無: 全果に現われない, 少: 30%以下の果実に現われる, 中: 50%程度の果実に現われる, 多: 80%以上の果実に現われる
4	肉質 (粉質の程度)		官能検査				無		弱		強			適熟果の果肉の質を官能により判定する 無: 富有, 弱: 三郎座, 強: 神燈